

IntraGuardian2+

IntraGuardian2+ SKYSEA 対応版

クイックスタートガイド

対応ファームウェア Version 3.1.0 以上



はじめに

このたびは、IntraGuardian2+シリーズをご購入いただきありがとうございます。本書では、IntraGuardian2+シリーズを利用するための注意や、簡単な設定事項を記載しています。

詳細な使用・設定方法は、製品 Web ページより最新版の IntraGuardian2+のスタートアップガイドをダウンロードしてご確認ください。IntraGuardian2+EX につきましても同様に製品マニュアルを参照くださいますようお願いいたします。

本書における質疑に関しましては、製品と共に発送された、サポート証書に記載されている連絡先または、購入先へご連絡ください。

※弊社へのお問い合わせの際は、製品シリアル番号やサポートシリアルをご連絡していただき、サポート対象が確認させていただく場合があります。

この装置は、VCCI-ClassA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波障害を引起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

1. 本体の初期設定

本製品をネットワークに接続するための設定を行います。

1.1 本製品の接続

本製品の LAN コネクタ(ETHER 0)と設定用 PC を LAN ケーブルで直接繋いでください。

拡張 LAN コネクタ(ETHER 1)には何も接続しないでください。

LAN の接続後、本体の電源コードを接続し電源を投入してください。

約 2 分で本体の起動が完了し、ステータス LED1 が緑点滅に変わります。

1.2 本製品の管理画面にアクセスする

本製品は管理に Web インタフェース(以下、管理画面といいます)を備えています。

ここでは、管理画面にアクセスする方法を解説します。

1.2.1 設定用 PC のネットワーク設定

設定用パソコンの IP アドレスを以下の様に設定します。設定方法については使用する OS の設定方法に従ってください。

IP アドレス	192.168.100.2
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	空欄

1.2.2 ブラウザで管理画面にアクセスする

Web ブラウザを起動し、設定用 PC の Web ブラウザで管理画面にアクセスします。

ログイン画面でファームウェアのバージョンが 2.x の場合は、スタートアップガイドの手順に従いファームウェアを 3.x.x(最新版)にアップしてください。

初期アドレス	http://192.168.100.1/
--------	-----------------------



1.2.3 本体 IP アドレスを設定する

本体左側のメニューメニューから「基本設定」-「設置設定」を選択し、ネットワーク設定と、時刻設定を行います。IntraGuardian2+の内蔵時計は月差±3 分のため、タイムサーバを使用した時刻同期を推奨します。設定が終わったら、画面下部の「確定」をクリックしてください。およそ 20 秒で本体設定が完了します。

ネットワーク設定

IPアドレス 192.168.100.1

ネットマスク 255.255.255.0

ゲートウェイ

定期確認を実施する

ネームサーバ

時刻設定

タイムサーバ

時刻を手動で補正する

2018/10/18 09:11:04

タイムゾーン 大阪, 札幌, 東京

2.管理サーバ設定を行う

複数の IntraGuardian2+を使用するために、別売りの管理サーバを使用する場合は、管理サーバの種類に応じて以下の設定を行ってください。

管理サーバの設定を行った場合、4. 以降の手順は不要となり、マネージャからの設定を行います。

2.0 単体で使用する場合

管理サーバを使用せず、単体で運用する場合は、3. 機器をネットワークに接続するへお進みください

2.1 IntraGuardian2+ Manager Professional を使用する

IntraGuardian2+Manager Professional を使用する場合、さらに以下の設定を行ってください。

- (1) 「管理マネージャを使用」するにチェックを入れる。
- (2) 「管理マネージャ Ver3 系」を選択
- (3) 「管理マネージャアドレス」に IntraGuardian2+ Manager Professional のアドレスを入力する

The screenshot shows a configuration window titled "管理マネージャを使用する" (Use Management Manager). It contains the following fields and options:

- 管理マネージャを使用する
- 管理マネージャ種別: 管理マネージャ Ver3 系, 管理マネージャ Ver2 系, オープンネット・ガード
- データベース保存場所: IntraGuardian2本体
- 管理マネージャアドレス: [Empty text input field]

2.2 OpenNETGuard を使用する

OpenNetGuard を使用する場合、さらに以下の設定を行ってください。

- (1) 「管理マネージャを使用」するにチェックを入れる。
- (2) 「オープンネットガード」を選択
- (3) 「管理マネージャアドレス」に OpenNETGuard のアドレスを入力する

The screenshot shows a configuration window titled "管理マネージャを使用する" (Use Management Manager). It contains the following fields and options:

- 管理マネージャを使用する
- 管理マネージャ種別: 管理マネージャ Ver3 系, 管理マネージャ Ver2 系, オープンネット・ガード
- データベース保存場所: IntraGuardian2本体
- 管理マネージャアドレス: [Empty text input field]

At the bottom of the window, there is a button labeled "確定" (Confirm).

2.3 SKYSEA Client View を使用する

「IntraGuardian2+ SKYSEA 対応版」をご利用の場合は、以下の設定を**必ず**実施してください。通常版とは設定内容が異なりますのでご注意ください。

- (1) 管理マネージャアドレスに SKYSEA ClientView 管理サーバのアドレスを入力します。管理マネージャアドレスの欄には “IP アドレス:52311” の形式で入力してください



☑管理マネージャを使用する

管理マネージャ種別 SKYSEA Client View

データベース保存場所 管理マネージャ

管理マネージャアドレス

- (2) SKYSEA ClientView サーバに IG2UnitSettingTool をインストールし、IntraGuardian2+を SKYSEA Client View から管理できるようになります。詳しくは SKYSEA Client Viewのマニュアルを参照してください。



IG2UnitSettingTool

3.機器をネットワークに接続する

設定が完了した IntraGuardian2+を監視対象のネットワークのスイッチング HUB に接続し、電源を入れてください。約 2 分で起動が完了します。先ほど設定した IP アドレスで再度ログインをします。

4. 端末の登録をする

管理マネージャを使用する場合は以下の手順は実施する必要はありません。

4.1 不正接続一覧から端末の登録をする

- (1) メニューから「不正接続検知」-「不正接続 PC 一覧」を選択すると、IntraGuardan2+ と同じセグメント内のネットワークに接続された PC などの一覧が表示されます。

4件の不正接続PCが見つかりました。

MACアドレス ベンダー	IPアドレス	IPv6アドレス	コンピュータ名 ワークグループ	確認日時 検知日時	状態	操作
BB:ED:B7:90:9F:43 (Toshiba)	192.168.100.5	fe80:da47:52aa:3171:d759		2016/10/18 09:47:11 <2016/10/18 09:46:44>	検知中	登録
00:23:5A:01:98:9F <COMPAL INFORMATION>	192.168.20.74	fe80:2235aff:fe2e:5743	HP-7XESRMCESKH <WORKGROUP>	2016/10/18 09:47:32 <2016/10/18 09:47:30>	検知中	登録
D8:CB:8A:2D:05:62 <Micro-Star INTL>	192.168.20.78	fe80:d58d:a673:da7aa856		2016/10/18 09:47:31 <2016/10/18 09:47:31>	検知中	登録
70:58:12:DE:43:FA <Panasonic AVC Network>	192.168.20.83	fe80:1004:2205:55fe:1bec		2016/10/18 09:47:34 <2016/10/18 09:47:31>	検知中	登録

※一覧すべての端末が表示されるまでの時間はサブネットマスクによって変わります。

サブネットマスク	時間(秒)
24	7
23	13
22	26
21	52
20	103
19	205
18	410
17	820
16	1639

- (2) 登録したい端末の右側の「登録」をクリックし、端末を登録します。各項目を確認し「登録」をクリックしてください

名称

MACアドレス 00:0C:5B:01:98:9F
* 記述例 01:23:45:67:89:AB

IPアドレス 192.168.20.10

有効期限

項目	説明
名称	端末につける名称(任意)
MAC アドレス	登録する端末の MAC アドレス
IP アドレス	端末の IP アドレス(任意)
有効期限	端末が接続できる期限(任意)

5. 不正端末を排除する

5.1 追跡時間を変更する

不正端末がネットワークから接続解除された場合、それを検知するための時間を設定します。サブネットマスクによって値が異なります。

動作設定

追跡時間 (秒)

動作モード 検知
 排除
 保留

保留時間 (分)

サブネットマスク	追跡時間(秒)
20～	180
19	240
18	450
17	900
16	1800

5.2 本体動作モードを変更する

端末の登録の終了後、本体の動作モードを排除モードに変更すると、未登録の PC がネットワークから排除されます。

※登録端末数が 1 台も無い場合は排除モードに変更をしても、排除動作はしません。

5.3 検知履歴を確認する

不正端末がネットワークに接続されなくなってから(シャットダウン、ケーブル抜線など)追跡時間を経過した場合や、不正端末一覧から端末登録を行うと、端末情報が「不正端末一覧」から「検知履歴」へ移動し、不正端末一覧からは削除されます。

これにより、過去に接続された不正端末の履歴を確認することが可能です。

6. 各部の名称と LED について

6.1 各部の名称



1	電源 LED
2	ステータス LED
3	シリアル端子 (使用できません)
4	電源端子
5	LAN 端子
6	拡張 LAN 端子 (使用できません)
7	USB 端子 (使用できません)
8	初期化ボタン
9	アース端子

- * 3.6.7はメンテナンスと修理のために、指定された技術者のみが使用する端子です。お客様がこれらの端子を使用することで機器の不具合が起きた場合、弊社はその不具合または不具合によって引き起こされた他の機器、システムへの不具合については一切責任を負いかねます。

6.2 LED について



電源 LED (POWER)	通電時に緑点灯します
ステータス LED1	動作時: 2 回ずつ緑点滅 起動中: 赤点滅します
ステータス LED2	常時消灯
ステータス LED3	動作時: 消灯 データ保存中: 点滅 ファームウェアアップデート中: 点滅
LAN スピード LED (SPD)	1000Mbps: 橙点灯 100Mbps: 緑点灯 10Mbps: 消灯
LAN 接続 LED(LINK)	通信中: 点滅

- ※1 本マニュアルに記載された名称は、各社の商標または登録商標です
- ※2 本マニュアルの内容及び製品仕様は予告なく変更する場合がございます
- ※3 本マニュアルの内容及び製品のお問い合わせにはサポート契約が締結されている必要があります。

総販売元: ネットチャート株式会社
 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-15-10
 YS 新横浜ビル 8F



製造元: 日本シー・イー・ディー株式会社
 東京都新宿区下落合 2-14-1 CAD ビル



Manual Version 1.1 (20161109)